

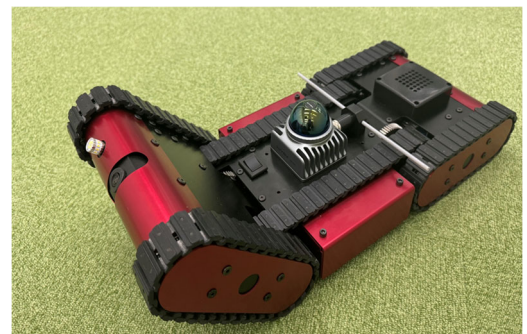
新型天井裏調査ロボット「VoOE[®]LS」を開発

～LiDAR 搭載により、天井内の寸法計測と図面化を革新～

新日本空調株式会社（代表取締役社長 廣島 雅則）は、天井裏調査ロボット「VoOE（ボーイ）」の新型機種として、LiDAR センサーを搭載した「VoOE LS」を開発いたしました。

従来機では 360 度カメラによる天井裏の可視化が主な機能でしたが、新型では空間を立体的に捉える点群データを取得することで、より正確かつ効率的な調査・図面化を短時間・低コストで実現します。当社は、VoOE シリーズを使い分けながら、高品質かつ効率的な調査が可能となります。

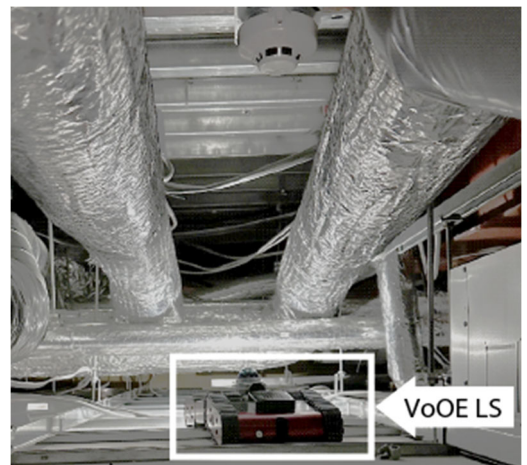
VoOE は、天井裏など人が立ち入ることが難しい空間を調査するために、歴史的建造物やオフィスビルなどでの調査実績を重ねてきました。現地調査を重ねる中で、調査対象の寸法計測や 3D 図面化へのニーズも高まったことを受け、レーザー光を用いた三次元計測と自己位置推定を同時に行う“LiDAR SLAM”技術を搭載した「VoOE LS」を開発いたしました。



【 VoOE LS 】

■VoOE LS の主な特長

- ・ LiDAR センサー「LIVOX MID-360」を搭載
 - 天井裏の建築部材や設備をレーザー光で立体的に測定し、点群データとして取得
- ・ 作業効率の大幅向上
 - 操作・データ取得を 1 台の PC で完結、1 名で調査が可能
 - 連続稼働時間が約 130 分に延長
- ・ 調査コストと時間の大幅削減
 - 従来手法と比べて、調査時間を最大 70%短縮、コストを 50%削減（当社試算）



【 天井裏走行の様子（別カメラで撮影）】

VoOE LS は 2025 年度より本格的に現場での運用を開始しています。今後は、地下ピットなどへの調査対象の拡大や走行性能の強化、操作性を高める専用アプリの開発などを通じて、利便性の向上を図ってまいります。当社は、今後も先進技術の活用と現場ニーズの的確な把握により、より高品質で効率的な建築設備に対するソリューションの提供を目指してまいります。

以上

【お問合せ先】

新日本空調株式会社 経営企画本部 コーポレートコミュニケーション課 福安 麻美子

Tel : 03-3639-2701

Mail : fukuyasum@snk.co.jp